



# 死者・不明2000人超

# 避難 6県で30数万人

東日本大震災の発生から3日目を迎えた13日、甚大な被害は深刻さを増している。死者・行方不明者は2千人を超えた。

避難者は、宮城、福島など6県で三十数万人に。宮城県登米市で朝、震度5弱を観測するなど余震も続いた。

## 東日本大震災

各警察本部がまとめた死者は795人、行方不明者は639人。警察庁や宮城県警によると、宮城県内ではかに400、500人の遺体があるほか、同県東松島市で新たに200人以上の遺体を発見。岩手県によると、陸前高田市でもがれきの下から多数の遺体が見つかった。

宮城県によると、12日夜の段階で、女川原発の施設のほか、石巻市と女川町の小学校や病院、旅館などで約4400人が孤立している。

福島県は13日、浪江町で新たに918人と連絡が取れなくなり、計1167人と連絡が取れないと発表。岩手県は大槌町の町長や職員と連絡が取れていない。町役場が津波に押し流され、町長らは建物内にいたとみられている。総務省消防庁によると、同県大船渡市の特別養護老人ホームで30人が津波に流された。



津波で破壊され廃墟と化した市街地。13日午前、宮城県南三陸町志津川

住民約1万人と連絡が取れない宮城県南三陸町や、住民約2万3千人中5900人の避難を確認した陸前高田市では、引き続き安否確認を進めている。警察庁によると、同市では市街地の約5千世帯が水没しているという。

気象庁は、東北の太平洋沿岸に出していた津波警報を注意報に切り替え、津波警報の出ている地域はなくなった。

政府は、激甚災害指定を行う政令を12日に閣議決定したと発表。自衛隊の災害派遣を10万人態勢とする。